

令和3年度学校評価報告書

令和4年4月6日

北海道教育委員会教育長 様

北海道室蘭工業高等学校長 川 村 広 幸

次のとおり令和3年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 基礎的・基本的な学力を確実に身に付け、自ら学び続ける意欲と態度を育てる。
- (2) 豊かな人間性と自主・自律の精神を育てるとともに、望ましい人間関係を構築させる。
- (3) 自己の在り方、生き方を考え、自らを高め、主体的に進路を決定する能力を育てる。
- (4) 自他の生命や人格を尊重し、健康で安全な生活を営む習慣を育てる。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校運営	・働き方改革をへの意識をさらに強める必要がある。 ・学校運営に対し、全教職員のさらなる共通理解を図る必要がある。	・学校の自己評価の結果は適切であると思われる。 ・小項目の「C」は、コロナ禍の影響をまだ受けていると思います。 ・面談、アンケートによるきめ細やかなフォローを図るという方策はとても適切と思います。 ・概ね良好な状況と言えますが、「A」や「C」の数値からも「何か行動したい」との思いが感じられ、忙しさもあり決して個々としての満足度は高くないのでは？改善にあります教職員の本音と個性を重視した面談は重要と考えます。
改善方策	・管理職面談やアンケートを通して協働できる組織文化を醸成する。	
関係機関との連携	・家庭との連携が日常的に行われている。 ・地域との連携が適切に行われている。 ・スクールカウンセラー、及びパートナーティーチャーの活用が積極的に行われ、充実した生徒指導が行われている。 ・教育活動の発信をホームページ、新聞等により十分行われている。 ・十分なPTA活動が実施できなかった。	・学校の自己評価の結果は適切であると思われる。ただし、コロナ禍でPTA活動事業などが行えないので、PTA活動離れにならないか注意した方がよいと思います。 ・評価の数値から、関係機関との連携はうまくいっていると思います。 ・情報発信については、教職員と保護者で多少評価が異なるようです。方策に書かれていることを確実に実施するしかないと思います。 ・良好な状況と言えます。現在、国は地域の困りごとを地域で解決する「地域共生社会の実現」を目指しており、様々な分野で技術校としての本校の活躍する場面もあるものと考えております。身近な所からの取組が地域からの信頼に繋がり評価されるものと考えます。 ・コロナで大変だったと思う。その中で少しでも取組ができたのではないかなと思う。

改善方策	・PTA活動の活性化 ・家庭・地域、関係機関との連携の質の改善	
学習指導	・学習活動が効率的かつ適正に行われるよう整備が必要である。 ・学習習慣の定着、学習意欲・学力の向上工夫が必要である。 ・遠隔授業のための整備、研修が十分できた。	・学校の自己評価の結果は適切であると思われる。 ・評価の数値から、関係機関との連携はうまくいっていると思います。 ・生徒の評価が高いことに感心しました。今後も授業の改善などを推進してください。 ・良好な状況と言えます。コロナ過での学生生活で私共は大変との思いが強い訳ではありますが、先日のTVで学生側の意見として多くのメリット「親子の時間が増えて絆が寄り深まった」「個人勉強時間が増えた」「コロナを現実社会と考え新たな発想が芽生えた」などと、卒業生が自ら企画し「思い出の残る卒業式」の報告もされておりました。私共の気づかない発想「学生の声や考え」も学習指導には重要と感じました。 ・授業の工夫など行われていると思いますが、授業の中で楽しく、やる気のある様なのがあって良いのかなと。
改善方策	・わかる授業に向けた授業改善 ・学習者主体の授業の推進 ・授業規律の共通認識を形成	
生徒指導	・規律ある生活習慣の確立(基本的生活習慣、服装、頭髪、授業)の定着へ向け、さらなる指導が必要である。 ・生活指導において保護者・関係諸機関との緊密な連携が必要である。 ・「学校いじめ防止基本方針」のもと、未然防止のための取組が適切に行われている。	・学校の自己評価の結果は適切であると思われる。引き続き、地域との連携が重要だと思います。 ・小項目の「C」は、おのおの家庭が絡んでいるので、その対応に苦勞を感じます。 ・この項目についても、生徒の評価が十分に高いと感じました。一方、教職員の感触（規律～）としてはまだ十分ではないのかもしれませんが。方策に書かれているようなことが適切と思います。 ・概ね良好な状況と言えます。近年の生活環境での危機感として「声を出さない生活困窮者(度合いは様々)」の比率が高まってきており、把握は難しいですが国などの研究機関では20%程の推計がされております。私の周りでは緊急対応は行っているものの「ほんの一部と理解」しており、学生からのシグナルを如何に早く見つける事が重要視されており、これらの対応も必要と考えます。 ・コロナ対策など、今年も大変だったと思います。クラスターにならなかったのは、きちんと取組が行われたからだと思う。
改善方策	・教育相談の質の充実 ・家庭・地域、関係機関との連携の質的強化	

進路指導	・進路意識の高揚を図る取り組みの推進が十分行われている。 ・望ましい職業観や勤労観を身に付けるような進路指導の充実が更に必要である。 ・生徒や保護者へ進路情報の提供が積極的に行われている。 ・学校の自己評価の結果は適切であると思われる。就職については、地元企業との連携を重視した方が良いと思います。 ・評価の数値から、関係機関との連携はうまくいっていると思います。 ・生徒の８割、保護者の９割が入学して良かったと考えています。出口である進路まで含め、しっかり成長させることができていると思いました。今後も多様な進路を実現させてください。 ・良好な状況といえます。 ・生徒、保護者に色々な企業の仕事内容、魅力などを教えてほしい。いろんな企業に訪問できたら良いかなと思う。
改善方策	・インターンシップの質の充実 ・切れ目のないキャリア教育の推進 ・進路実現のための支援の本質を追求
公表方法	本校ホームページ、ＰＴＡ総会・役員会等で公表及び説明